

Webメニューからの起動に関するトラブルの対応方法について（e-TAX消費税）

I. 事前確認

1. 配付ツールの登録有無の確認

(1) 確認方法

「Windows のスタート」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」から、「e-TAX消費税 Deployment Tool」が登録されていることを確認してください。登録されていない場合は、(2)対応方法に従って、登録してください。

(2) 対応方法

Webメニューの「パソコンの事前設定」→「事前設定（1／2）」のリンクから登録してください。（※要管理者権限）

※「e-TAX消費税 Deployment Tool」の実行中に「修復」と「削除」の2つの選択肢が表示される場合があります。この場合は「削除」を実施した後、再度登録してください。

II. 確認手順

1. ブラウザからのダウンロード及び保存の確認

下記、URL のファイルをデスクトップ等の任意のフォルダにダウンロードして保存できるかを確認してください。ダウンロード及び保存が正常に行える場合には、下記2をご確認ください。

ダウンロードまたは保存出来ない場合には、貴社のIT部門の方にご確認の上、貴社のセキュリティ製品（ウイルス対策ソフトに加えUTM等のネットワークセキュリティ製品を含みます）の対応をお願いします。

(1) 共通部品

行	URL
1	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/setup/1/tkcappstart.zip
2	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/setup/1/tkcapploader.zip

(2) システム（ダウンローダー）

行	URL
1	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/setup/1/EshLoader.zip

(3) システム（運用管理）

行	URL
1	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/eshmng/20201100/eshmngdisk1.zip

(4) システム（本体システム）

行	URL
1	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/esh2020/20201100/esh2020disk2.zip

(5) システム（環境設定ツール）

行	URL
1	http://ctsdwnld.tkc.co.jp/etaxshouhi/setup/1/setenv.zip

※ご利用年度に応じてURLが異なる場合がありますが、ここでは同等のファイルがダウンロードして保存ができることの確認を目的としています。上記URLでのご確認をお願いします。

2. ダウンロードしたファイルの存在確認

(1) Webメニューから「本体システム」及び「運用管理システム」のリンクをクリック後、下記のファ

イルが存在することを確認してください。全て存在する場合には、(2)の確認をしてください。
存在しないファイルがひとつでもある場合には、正常にシステムを起動できません。貴社のIT部門の方にご確認の上、貴社のセキュリティ製品（ウイルス対策ソフトに加えUTM等のネットワークセキュリティ製品を含みます）の対応をお願いします。

行	フォルダ	ファイル名
1	C:\Program Files (x86)\TKC\EshRtn\Starter	EshLoader.zip
2	C:\Program Files (x86)\TKC\EshRtn\EshVerChk\EshCTRL	eshmngverchk.zip
3	C:\Program Files (x86)\TKC\EshMng	eshmngdisk1.zip
4	C:\Program Files (x86)\TKC\EshRtn\EshVerChk\Eshyyyy	eshyyyyverchk.zip
5	C:\Program Files (x86)\TKC\EshRtn\Eshyyyy	eshyyyydisk1.zip
6		eshyyyydisk2.zip
7	C:\Program Files (x86)\TKC\Shared Files	TKCPRG.zip
8		tkctaxof.zip
9	C:\ProgramData\TKC\Common	TKCSYS.zip

※OSが32ビットの場合には、「Program Files (x86)」を「Program Files」と読み替えてください。

※yyyyについては、西暦の数字4桁となります。(例：令和7年度の場合「2025」)

- (2) Webメニューの「パソコンの事前設定」－「事前設定(2/2)」のリンクをクリック後、下記のファイルが存在することを確認してください。存在しないファイルがある場合には、正常にシステムを起動できません。貴社のIT部門の方にご確認の上、貴社のセキュリティ製品（ウイルス対策ソフトに加えUTM等のネットワークセキュリティ製品を含みます）の対応をお願いします。

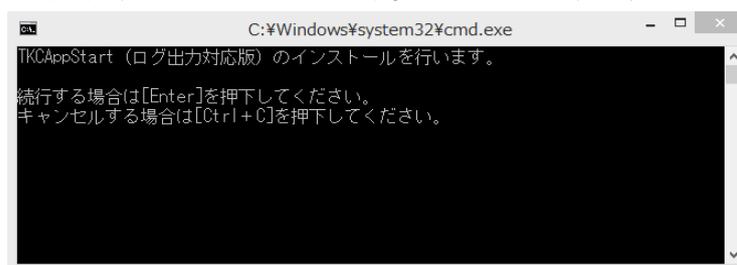
行	フォルダ	ファイル名
1	C:\Program Files (x86)\TKC\ASP1000R\SetEnv	setenv.zip

※下記3の手順を実施していただくことで原因究明に繋がる場合もあります。必要に応じて、3の手順を実施してください。

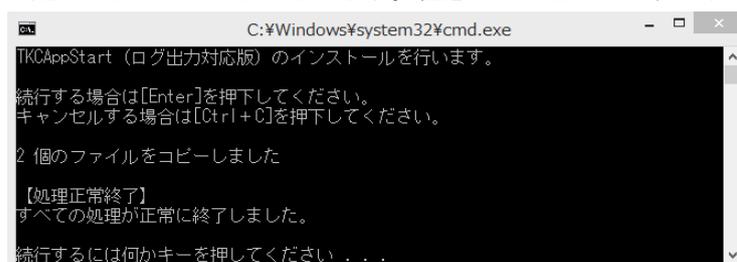
3. ツールによる詳細の確認

- (1) 当該リンクからzipファイルをデスクトップ等の任意の場所にダウンロードし、解凍してください。
(2) (1)を解凍したフォルダ内の「1-Install.bat」をダブルクリックして実行してください。

下記のウィンドウが表示されます。メッセージに従い、Enterキーを押下してください。



下記のメッセージが表示されます。任意のキーを押下し、当該ダイアログ画面を閉じてください。



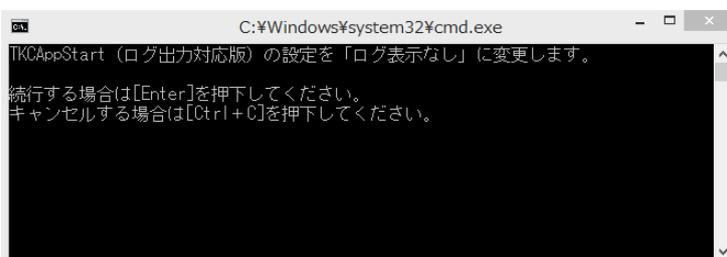
- (3) Webメニューの「本体システム」及び「運用管理システム」のリンクをクリックしてください。エラーが発生した場合には、メモ帳で詳細のエラーを表示します。メッセージをご確認の上、貴社のIT部門の方に確認してください。

※当該ファイルは、「C:\ProgramData\TKC\Common\errorlog」フォルダに作成します。



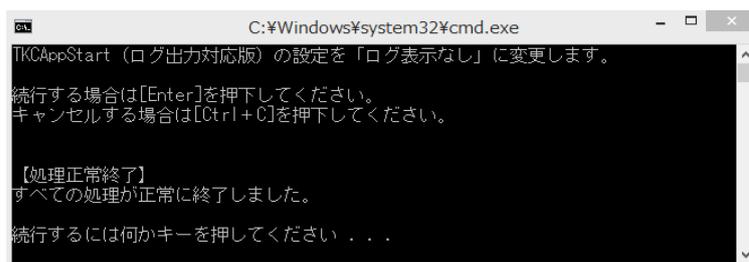
```
TKCAppLoader-YYYY-MM-DD-HH-MM-SS.log - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
モジュール' tkcappstart.exe' のアドレス005F5A06でアドレス00000008に対する読み取り違反が occurred.
1.原因
システムを起動するプログラム (TKCAppStart.exe/TKCAppLoader.exe) の更新に失敗しました。
2.対処方法
エラーが発生したPC上のセキュリティソフトを一時停止するか、セキュリティソフトの設定を見直し、処理をやり直してください。セキュリティソフトの停止方法等は、貴社のIT部門にご相談ください。
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] DownloadConfigFile(URL) ->
http://ctsdwnld.tkc.co.jp/XXXXXXXX/XXXXXXXX/XXXXXXXX
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] C:\Program Files (x86)\TKC\XXXXXXXX
\XXXXXXXX\proxyserver.txt is not used.
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] The current setting is
[WINHTTP_AUTOPROXY_AUTO_DETECT].
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] WinHttpOpen is succeeded.
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] WinHttpGetProxyForUrl is failed.
GetLastError=12180
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] Use the proxy server settings.
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] Certified.
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] WorkPath -> C:\Users\XXXXXXXXXX\AppData\Local
\Temp\XXXXXXXXXX.xml
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] TargetPath -> C:\Users\XXXXXXXXXX\AppData
\Local\Temp\XXXXXXXXXX
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] If-Modified-Since ->
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] FHttp.Get
http://ctsdwnld.tkc.co.jp/XXXXXXXX/XXXXXXXX/XXXXXXXX/XXXXXXXX
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] HttpReceiveData contentLength -> 8015
readCount -> 0
[YYYY/MM/DD hh:mm:ss.fff] HttpReceiveData contentLength -> 8015
readCount -> 3586
```

- (4) エラー解消後に、「2-LogDispOff.bat」をダブルクリックして実行してください。下記のウィンドウが表示されます。メッセージに従い、Enter キーを押下してください。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
TKCAppStart (ログ出力対応版) の設定を「ログ表示なし」に変更します。
続行する場合は[Enter]を押下してください。
キャンセルする場合は[Ctrl+C]を押下してください。
```

下記のメッセージが表示されます。任意のキーを押下し、当該ダイアログ画面を閉じてください。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
TKCAppStart (ログ出力対応版) の設定を「ログ表示なし」に変更します。
続行する場合は[Enter]を押下してください。
キャンセルする場合は[Ctrl+C]を押下してください。
【処理正常終了】
すべての処理が正常に終了しました。
続行するには何かキーを押してください...
```

※ 「3-LogDispOn.bat」を実行することで、エラー発生時にメモ帳でエラーを表示できます。

以上